



みんなの議会

かみとくま食堂 (子ども食堂)

「地域と子ども
つなぐ場に！」
代表の瀬在さん



お土産は
地元野菜も
あります！



食堂内部



スタッフは
20名程

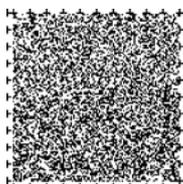


「かみとくま食堂」は、千曲市の「子どもの居場所づくり支援事業」と各種団体の補助金、個人の寄付金で運営されています。昨年5月12日発足から今年6月末まで、イベントを含め34回開催。参加した子どもは延べ約700人。今年も夏休みに地元「ふるさとづくりの会」や各種団体と協力してイベントが行われます。



ホームページ

千曲市のこんなことが決まりました	2
特別委員会中間報告	5
一般質問	6
質疑・動議・討論	14
議員活動	15



(音声コード)

令和4年6月定例会議

千曲市のこんなことが決まりました。

■ 会期 18日間（6月6日～6月23日）

6月定例会の議案は

市長提出議案	12件
委員会提出議案	1件
請願・陳情	4件

議案等の審議の結果は、千曲市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。
賛否の分かれた議案の各議員の賛否は、市議会ホームページの「議会日程」の中で公表しています。

Pick up

1

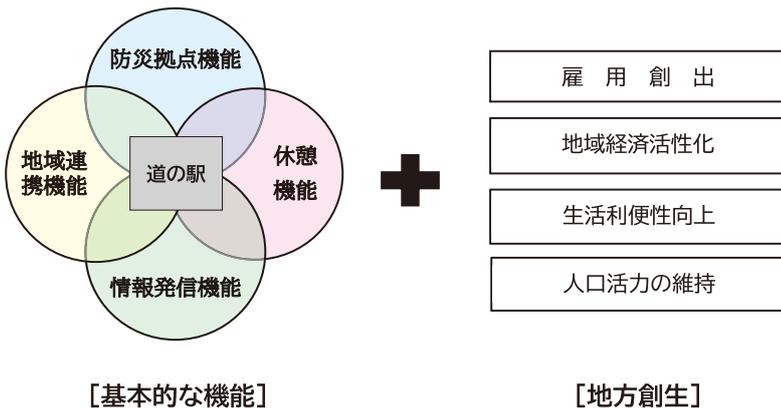
総務文教
常任委員会

地域防災拠点（防災道の駅）の整備について

市長は選挙公約で「更埴川西地区に防災拠点を設置」としている。「令和元年東日本台風で大きな被害を受けた千曲市にとって、地域防災拠点（防災道の駅）の整備が最優先事項」と令和4年3月議会で答弁している。

Q 「防災道の駅」について市長のイメージと基本計画は。

A 「防災」と「活力ある地域社会の創造」の両面から設置場所を選定する必要があるが、昨年度の設置可能性概要調査報告書で八幡地区国道18号バイパス周辺が最適地とされた。令和6年度に基本計画を完成させたい。市が単独で設置する場合は、多額の費用が掛かるため、整備の内容や方法等について十分検討するよう考えている。



Pick up **2**

福祉環境
常任委員会

市内公共交通についての 提言を提出しました

高齢化社会が進み、運転免許の返納などにより、移動が困難な高齢者は年々増加が見込まれる。障害者や学生などを含めた交通弱者にとって重要な移動手段である公共交通の在り方は、時代のニーズに合った形に変革が必要と考える。

当委員会では、昨年の9月以降、公共交通施策について継続して閉会中に調査を行ってきた。この間、当市の公共交通の現状把握と、デマンド運行を中心としている安曇野市や飯綱町の先進事例について視察調査を行い、委員会でまとめた提言を6月17日に議長に提出し、同日、議長から市長に提出をした。提言では、市民が平等に利用しやすい公共交通体系への変革や積極的な先進事例の活用、交通弱者へのきめ細やかな配慮などを盛り込んだ。



Pick up **3**

建設経済
常任委員会

一重山2号線の 市道路線認定について

市内の基盤整備の東西連携軸であり、現在事業化を目指す屋代地区スマートインターチェンジの接続道路である都市計画道路一重山線の一部として、一重山2号線の先行整備が進められている。

Q そもそもこの道路を整備する目的は。

A 千曲市内の交通を渋滞がなくスムーズに動かす機能のほか、防災上の機能など、多様な役割を果たす都市計画道路「一重山線」整備事業の先行整備区間として市が着手する。

Q 20mの道路幅員で自転車通行帯が2・25mと広く計画されているのは何故か。

A 市では、SDGsや脱炭素の観点から自転車の活用を進めている。この道路の交通量を予測した上で、自転車が安全に走ることで幅員として示した。



(A コープあんず店周辺～長野県立歴史館周辺)

Pick up **4**

総務文教
常任委員会

コロナ禍での 学校と地域との接点について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、議員などの学校行事への来賓出席について自粛措置が取られ、学校と地域の接点が減少している。

Q

新型コロナウイルス感染拡大により、教育現場で子どもへの感染が広がった。学校行事での来賓自粛措置で、地域との関係が心配されるが、教育委員会ではどう考えるか。

A

今後の感染状況に応じながら、地域との関係を深めていきたい。



Pick up **5**

福祉環境
常任委員会

子宮頸がんワクチン接種勧奨が 再開されました

平成25年6月から、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が控えられていたが、国の決定により令和4年4月から勧奨が再開された。

平成9年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた女子で、定期接種の対象年齢（小学校6年生から高校1年生）を過ぎた方は公費で3年間接種が受けられる。そのうち、平成17年

Q

4月1日までに生まれた女子で、自費でワクチン接種を受け、一定の条件を満たす方には接種費用の助成を行う。
対象年齢を過ぎた方への周知は。

A

従来の定期接種の対象年齢を過ぎた方には、公費で接種を受けられることを5月に通知しており、その中に自費で接種した方には費用の助成を行うことを記載している。市報、ホームページ等で周知していく。



詳細版 お子様にもわかりやすい縦装版もあります。

小学校6年 ~ 高校1年 の女の子と
保護者の方へ大切なお知らせ

HPVワクチンについて知ってください
～あなたと関係のある“がん”があります～

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

目次

- 1 子宮頸がんの現状
- 2 子宮頸がんにかかるとは
- 3 子宮頸がんの予防
- 4 HPVワクチンのはじまりと世界の状況
- 5 HPVワクチンと子宮頸がん検査
- 6 子宮頸がん検査について
- 7 HPVワクチンの種類について
- 8 HPVワクチンの効果
- 9 HPVワクチンのリスク
- 10 安全衛生定期的に確認しています
- 11 健康被害がなかったこと
- 12 HPVワクチン接種の注意
- 13 HPVワクチンについて教えてください

出典：厚生労働省ホームページより

農業政策の改善を求める意見書 提出を要望する請願について

ロシアのウクライナ侵攻等により先行きが見通せない世界情勢の中で、国民生活を守る主軸となる食料の安定供給に向けた農業改革を国に求める意見書提出要望の請願について審査した。

請願趣旨

農業者の高齢化や後継者不足で荒廃農地が全国的に増加する今、食料の6割以上を海外に依存する我が国において食料自給率の改善が喫緊の課題である。穀物等の重要品目を生産する農業従事者を国が支え、安心して農業に従事できる仕組みを整えることや、食料自給率を向上させ、持続的な食料安定供給を可能にする農業改革を求める意見書を国に提出すること。

委員からの意見

安全保障で大事なものは防衛だけでなく、食料が一番である。食料をしっかり確保し、国民の命を守るための施策は大変重要であるので賛成する。

◎ 全会一致で本請願を採択すべきものと決定

意見内容

1. 早急に食料の潜在生産能力のある荒廃農地等で穀物等の重要品目を生産する政策を推進すること
2. 穀物等の重要品目を生産する農業従事者を国が経済的に支えること

特別委員会中間報告

(6月定例会において、特別委員会へ付託されている事項についての中間報告を行いました。)

議会広報特別委員会

本特別委員会は、議会広報に関すること、議会だよりに関すること、その他これに関連することを付託事項として、調査・検討を進めてきた。

その活動の経過と概要について報告する。

「議会広報に関すること」

令和3年9月定例会から、インターネット上で録画映像配信「千曲市議会公式 YouTube チャンネル」を始めた。

これまでケーブルテレビでしか見ることができなかった本会議や一般質問の様子を、パソコンやスマートフォンなどで会議の約2週間後から誰でも見られるようになった。

また、市のホームページや Facebook に定例会の日程を掲載し、本会議を傍聴できることを伝えてきた。

開かれた議会の実現のため、SNS (ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス) などの様々なツールを使い、積極的に情報発信をしていくことで幅広い年代の方に広く市議会の活動を知っていただくことを目指している。

議会広報としての情報発信は、議会を市民に近づけるためにも今後も取り組むべき重要な事項と考える。

「議会だよりに関すること」

令和2年9月1日発行の76号から令和4年5月1日発行の83号まで8号の「議会だより」を発行した。また、「速報」については、No.29からNo.33までの5号を発行した。

議会だよりに関しては、議会をより理解していただくために、わかりやすい文章、見やすい紙面構成に工夫をしてきた。

令和4年5月1日発行の83号からは全ページフルカラーとし、表紙デザインをはじめ、全ページにわたって写真を多用した編集構成にし、よりわかりやすい言葉と視覚を重視した『読み易さ』をコンセプトにリニューアルした。

今後も、市民との大切なコミュニケーションツールとして、読んでもらえる「議会だより」を目指し、編集・発行をしていきたい。

以上、本特別委員会に付託された事項に関する調査・活動の経過と概要報告を申し上げ、本日まで本特別委員会に声を寄せていただいた皆様の特段のご協力に深く感謝申し上げます、中間報告とする。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

個人質問

市議会議員個人が、市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針について、答弁を求めるもの。

今定例会では、

14名の議員が質問しました。

千曲市議会公式ユーチューブチャンネルで、一般質問の全ての内容を動画で視聴することができます。

ぜひご覧ください。
(動画は一般質問の約2週間後から配信されます。)



議会公式チャンネル

千曲市議会ユーチューブ

検索



新政クラブ
中村 眞一

千曲市子育て世帯の転入が増加「社会増」に

Q 6年連続で「社会増」の要因は何か。

A 千曲市は通勤などの交通の利便性や地価の安さなど地理的優位性や、千曲線開通により商業施設などが周辺に集積し、住環境が向上していることから子育て世帯が増加し、社会増が続いていると推察する。その他にも福祉や健康増進施策、子育て支援策等の充実など、様々な事業効果が成果として表れている。

Q この3年、年平均約300軒以上の新築住宅の建設が進み、地域の人口増に結びついていると思うが、次の推進策は何か。

A 次の推進策として「移住・定住施策」の推進を考えている。情報発信を強化し、選

ばれる千曲市となるための施策を展開する。

市内空き家の実態

Q 令和3年度の「空き家実態調査」は。

A 家屋数4万906件に対し、空き家数が942件で比率は約2.3%、平成25年度と大きな変化はないが、今後増加が考えられる。

リフォーム空き家の「賃貸活用」を

Q リフォーム助成金等を活用し、リフォーム空き家の「賃貸活用」を積極的に推進したら、移住定住に結びつくと思うがどうか。

A 賃貸物件の登録増が、移住定住希望者の掘り起こしとなる可能性もあるので、広報やチラシ等で空き家バンクのPRに努める。



一志会
小玉新市

千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区保存計画の進捗状況について

Q 千曲市稲荷山伝統的建造物群保存地区保存計画は平成26年に策定された。この計画はごいまで進んでいるか。

A 管理施設等については「稲荷山宿・蔵し館」の入館者数が伸び悩むなど施設の効果的な活用が課題である。「説明板や案内板の設置」では、稲荷山地区に存在する文化財等の説明板は地元の皆様により整備されつつあるが、訪れた皆様を満足させる「案内板」の設置には至っていない。防災関係の「防災計画策定等」については「災害に対する安全確保」として、平成30年に「稲荷山伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査報告書」を策

定した。今後重伝建地区の防災計画の策定に着手していく。「火災報知機等の設置推進」では、防災訓練の際に啓発活動を進めているが、未設置の建物が多い。環境整備では「街並み景観への配慮」として、令和3年度末までに国・県補助の物件17件の修理・修景が完了した。「歩行者の安全確保、路面舗装や側溝の改良及び電柱並びに架線の地中化」は多額の費用が見込まれることから現段階では進んでいない。「広告看板等」では許可基準である「材質、大きさ、位置、色彩等環境に調和したもの」としてこれまでに1件の対応事例がある。



保存計画の早期実施を望む稲荷山の街並み

定した。今後重伝建地区の防災計画の策定に着手していく。「火災報知機等の設置推進」では、防災訓練の際に啓発活動を進めているが、未設置の建物が多い。環境整備では「街並み景観への配慮」として、令和3年度末までに国・県補助の物件17件の修理・修景が完了した。「歩行者の安全確保、路面舗装や側溝の改良及び電柱並びに架線の地中化」は多額の費用が見込まれることから現段階では進んでいない。「広告看板等」では許可基準である「材質、大きさ、位置、色彩等環境に調和したもの」としてこれまでに1件の対応事例がある。



一志会
吉池明彦

子どもたちと教職員の現場の課題について

Q 不登校対策支援事業の取組みは。

A 不登校未然防止と不登校児童支援がある。未然防止は、小中学校の出席状況の把握、相談支援の為のカウンセラ―4名とソーシャルワーカー1名を配置した。不登校児童生徒の支援は、市内5か所に教育支援センター（中間教室）を設置し、社会的自立に繋がる様支援している。

Q 部活動指導員設置事業の具体的な内容は。

A 教員の働き方改革、部活動の指導充実の為、4中学校に9名を配置した。職員として教員と連携して競技力と健全な心の育成を図る。

Q コロナ禍における特別支援学級含め、多様な子どもたちのケアは。

A 教育コーディネーター43名が生徒に向き合い支援し、心のケアはカウンセラーの面談や、教員の観察と声掛けなど工夫している。

風水害の防災・減災と「避難の見える化」について

Q 避難が見える様、自主避難者の行動調査、「いつ・どこへ」の地区・災害別「ガイドライン」の作成、ライブ配信やリモート等リアルタイムで情報共有すべきだ。

A 災害時は避難場所の開設受入れ体制を構築強化する。行動調査やガイドライン作成等今後鋭意研究する。

Q 堤防道路の重要水防個所の点検は十分か。

A 出水期に備え、関係機関で合同巡視を6月1日実施した。

【その他の質問】

- ・小規模事業者への支援について
- ・「脱炭素・SDGs」推進について
- ・公助の「情報伝達」と「防災・避難訓練」について



一志会
宮下 繁明

地域づくり協議会（仮称）の今後の進め方について

Q 地域づくり協議会は役員となり手不足や自治意識の涵養のためにも早急な導入が求められる。市は令和8年度設立としているが、早めるべきではないか。

A 設立に向けて素案をまとめ、準備が整えば早く設立する。

姨捨スマートICのフル規格化と周辺道路の整備について

Q 姨捨スマートICは利用者も順調に増えている。利便性を高めるためにフル規格化と周辺の道路整備を早急に進めるべきではないか。

A 姨捨スマートICは市の西の玄関でありフル規格化は観光面や産業面の他、災害時の代替ネットワークのためにも重要。しかし「地すべり防止区域」のため地質状況を把握した上で計画を進める必要がある。昨年度から地質調査を実施してお

り、今年度も引続き調査を進め、結果が良ければ道路の予備設計を進める。

屋代地区の開発について

Q 屋代地区の開発は土地区画整理事業から「民間による開発」となった以上、市は民間に任せるべきではないか。

A 開発の実現には市による規制除外に向けた検討が必要。今後市がどこまで関与するかは市民の声を聞き判断する。

Q

一重山2号線と屋代スマートIC（仮称）は当初は大型商業施設誘致のためであった。しかし誘致の失敗以後は「産業連携ネットワーク」による東西の連携軸、スマートICは更埴ICの渋滞解消、災害対策のためとの説明は後付けの理由であり、市民の理解が得られないのではないか。

A

きっかけは屋代開発のためであったが、一重山線の一部として2号線の整備とスマートICは必要。今後は市民や議会に理解されるようより丁寧な説明を心がける。



一志会
田中 秀樹

市男性職員の育休取得促進について

Q これまで取得率の低かった男性の育児休業について、第2子以降の出生率への好影響、女性の産後うつや子ども虐待の予防、親密な夫婦関係・父子関係の構築、職場の生産性向上や人材採用力の強化など多数の意義が指摘されており、千曲市でも「職員の育児休業等に関する条例」が改正された。今後の取り組みは。また、市が定める「令和7年度までに男性の育児休業取得率10%以上」という目標は低すぎないか。

A

職員から妊娠または配偶者の妊娠について申し出があった際は、当該職員に育児休業に関する制度の理解を深めてもらい、また、育児休業に係る勤務環境の整備等、育児休業の取得が円滑に行われるよう努めている。

く。目標についても、育児休業取得の啓発に努め、今後の取得率の状況により上方修正を検討する。

住宅耐震改修の加速を

Q 市は「耐震改修促進計画」の中で、令和7年度までに住宅の耐震化率を92%にする目標を掲げ、無料耐震診断と耐震改修工事への補助（補助率5分の4、上限100万円）を実施している。目標達成に向けた今後の事業の進め方は。

A

いっどこで起きるかわからない大地震に備えるためには、住宅の耐震性を向上することが急務と考える。市報や回覧、ホームページ、耐震説明会の実施等による事業の周知に加え、昭和56年5月以前に新築された対象住宅への戸別訪問を充実させ、耐震化の意識を促していく。



公明党
滝沢 清人

新たな「住民参加型システム
ポリネコ！」で子どもまんな
か社会へ

Q 「ポリネコ！」は大変に興味
深く、新たな可能性を感じ
ることができた。「防災」の
次のテーマとして「子ども
基本法」をベースに制作し、
市民と共に「学び」を考え「気
づき」、子どもまんなか社会
へ子育て先進市を目指すべ
きだ。

A 市民と行政そして議会が一
緒に、誤解や先入観を取り
除きながら、課題解決に参
加できるのが、この「ポリネ
コ！」と考える。理想的な「子
どもまんなか社会」の実現
に一層努力する。

Q 休日の中学部活の地域移行
については、メリットのほ
か課題も多いが、市には積
極的な支援を求める。

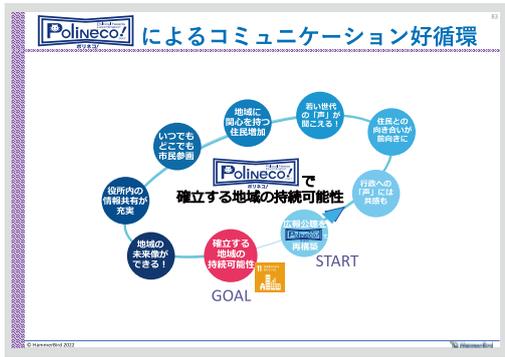
A 本年4月、スポーツ団体・
文化団体・PTA・校長会・

中学体育連盟等による「中
学校部活動地域移行推進会
議」を開催、課題は多いが、
子どもたちに豊かなスポー
ツ・文化環境が保障される
制度設計を進める。

気候危機と事前防災

Q 事前防災の要「危機管理防
災課」の組織体制は万全か。

A 危機管理防災担当部長に前
消防長を配置し、危機管理
能力を強化した。職員定数
の厳しい現実があり人員を
増やすことはできないが、
全職員で現場担当チームを
作ってフォローしていく。



株式会社ハンマーバード 概要説明資料より



一志会
川嶋 敬信

通学路の安全点検

Q 昨年千葉県八街市の事故を
受けて、7月に文部科学省か
ら通学路における合同点検の
実施依頼があり、県内では要
対策箇所が2240ヶ所。県
交通安全推進本部では対策
や整備が必要な1835ヶ所
を計画的に整備する。千曲市
では要対策箇所が13ヶ所だ
が、危険箇所は13ヶ所しか無
いのか。

A 市教育委員会ではこれまで
危険箇所の対策を講じてきた
ので、各小学校に最優先で対
策を講じてほしい箇所を原則
1ヶ所あげてもらい、効率的
な点検に努めた。

Q 危険箇所の内容により国か
ら整備費や対策費が配分さ
れた。国や県からの依頼で
は、1校1ヶ所という内容
は無い。また建設課では地
域要望から通学路等危険箇
所調査をリストアップして

A 庁内連携は大事。情報を共有
していきたい。

屋代南高校の経緯

Q 県立高校の再編で屋代南高
校について新聞報道がある
が屋代南高校を発展させる
会での経緯は。

A 発展させる会では本年2月の
臨時総会で「たとえ学校名が
変わったとしても何らかの形
で今ある場所に学校を残す活
動を続ける」と決議した。

Q 旧第4通学区の地域協議会
に出ている役員が、屋代南
高校を発展させる会の中心
だが、市長が会長のこの会
は任意団体なのか。また会
議録を公開して頂きたい。
地域や各団体で要望や意見を
集約していないので、総意は
これからだ。今後もう丁寧な説
明と情報公開を求める。

A この会は任意団体である。ま
た会議録は無い。



無党派
倉島 さやか

千曲市日本遺産に
内閣府副大臣が視察

Q

昨年12月議会で質問した伝統行事や民俗芸能等の支援策に用意された文化庁の補助金65億円はその後、地元関係者、担当職員のご尽力により1600万円を「兩宮の神事芸能」に対して受けることが決定した。この素晴らしい成果とチャンスを今後どの様に活かしていくのか、また後継者不足への対応策は。

A

令和5年の開催に向けて地域住民の関心を高めていくことが重要である。市として、地元の機運を醸成するために例えば講演会等のソフト事業を支援することは必要と考えている。

Q

千曲市日本遺産の視察に赤池誠章副大臣、文化庁飛田章参事官が来られた。頂いた提案や人脈を今後どの様に活かしていくのか。

A

市としては、頂いた提案、今回の視察によりできた国とのパイプを活かし、今後は日本遺産発展のための指導や支援を頂けるよう継続して要望等を行っていく。

園・小接続、幼児教育

Q

園・小接続、幼児教育、保育所のICT化について。

A

園・小接続については研究し次世代支援部と教育委員会が連携して取り組んでいく。保育所のICT化は令和5年度の予算化に向け取り組んでいく。



内閣府副大臣 赤池誠章先生がご本人のブログにて千曲市日本遺産を詳しくご紹介してくださいました。



千風の会
聖澤 多貴雄

治水対策により市民の生命・財産、庁舎を守り抜く

Q

千曲市内の内水氾濫対策(東林坊川へのポンプゲート設置)について。

A

背割堤の効果により内水排除が見込まれる為に、ポンプゲート設置計画は現在のところはない。対策については課題も踏まえ慎重に検討し、最も効果がある治水対策を国と連携し進める。

ひとり、ひとりを大切にした教育

Q

新学期以降、中間教室のあり方に変化はあったか。フリースクールについてはどうか。

A

現在小学生を対象にした1教室、中学生を対象に各校敷地内に4教室の中間教室がある。今年度から保護者と児童生徒が中間教室の事

屋代南高校を無くしては、ダメだ!

Q

屋代南高校再編・整備案の発表を受け「市長の決意と覚悟」は如何か。

A

屋代南高校の存続は私の願いであり千曲市民の強い願いである。今後も同じ場所に学びの場が残るように発展させる会を構成する同窓会の皆様をはじめ市議会、地元選出の県会議員、経済界の皆様とも協調しながら屋代南高校の存続、発展のために最大限の力を発揮し県に働きかけていく。



日本共産党千曲市議員
前田 きみ子

18歳までの医療費無料
の方向に

Q 県内の子ども医療費助成は安曇野市、松本市など69市町村が18歳まで助成をしている。新たに伊那市も18歳まで、受診時に支払う500円の窓口負担も無償化を表明した。今まで難しかった国の国保減額措置いわゆるペナルティの廃止が決定的な状況にあることも付け加える。市の考えは。

A 当市においても、18歳まで拡大する方向で準備を進めている。

避難所、福祉避難所について

Q 昨年4月1000年推計の市防災ガイドマップが発行された。市の指定避難所の東小、埴生中には不安があり避難しなかったとの声がある。東小近隣住民からは

県立屋代高校を市指定避難所にとの要望があるが。

A 県立屋代高校と連携をとり、指定避難所にした。

Q 何故、福祉避難所が小中学校か。

A 15の福祉避難所は、一般の避難所と併設で、要配慮者と家族が同じ敷地内の避難となり不安の緩和にと考えている。マンホールトイレは各小中学校に5基ずつ、ダンボールベッドは10個ずつ、折り畳みベッドは100個ずつ常備している。



各学校に配備の簡易ベッド



自由民主クラブ
荻原 光太郎

善光寺御開帳後の
観光施策が必要だ

Q 善光寺御開帳で6月まで当地は賑わっているが、これまで閉幕後の落ち込みが顕著だった。今定例会に補正予算で提案されている「ちくま割第2弾」は、いつ始めるか。県民割が延長となった場合、関東圏の最大マーケットを対象地域とするよう、県に要望する考えは無いが。

A 本年4月から実施の「ちくま割」は好評で、宿泊割引の割り当て分を既に消化している旅館、ホテルが有るので、議会議決後に7月から対応できるよう調整したい。関東圏を対象地域にする件は、関係団体との連携を図り、県への要望を含め対応を検討する。

基本構想の策定について

Q 総合運動公園の整備に当たり、基本構想への意見と今後の進め方及びかわまちづくり事業について伺う。

A 基本構想策定協議会と施設利用者や市民へのアンケートでは、新たな体育館はプロスポーツの公式戦に対応したアリーナにとの一方で、プロスポーツより市民利用を優先すべきなど、様々な意見が有る。策定協議会では先進地の視察等を踏まえ、今年度末の策定を目標に協議を進めている。かわまちづくりは各市町村が進める水辺空間整備を国土交通省が支援する仕組み。管轄する千曲川河川事務所も総合運動公園基本構想策定協議会の構成員であることから、令和6年度に事業申請手続きに進められるよう調整している。

【その他の質問】

- デジタル技術の活用について
- イベントの開催、会食自粛の緩和などについて



千風の会
飯島 孝

ヤングケアラーについて

Q 把握は、取り組みは、どう支援するののか。

A 児童生徒の様子を日常的に見守るとともにスクールソーシャルワーカーや関係機関と連携して把握をしている。取り組みについては県のアンケート調査で「自分の今の状況について話を聞いてほしい」との回答が多かった事を踏まえ、いつでも気軽に相談できるように担任を始め校長、教頭、養護教諭を中心に、相談体制を整えている。更にスクールカウンセラー4名も配置している。支援は児童生徒・保護者への啓発を図るとともに、適切な関係機関につないで行く。

通学路の整備について

Q 当市の状況は、進捗は、今後の取り組みは。

A

国からの要請で危険な13箇所の点検をし、カラー塗装や路面標示などは昨年度中に対策をした。継続的な対策が必要な所は「通学路交通安全安全プログラム」に組み入れて進捗管理をする。引き続き建設事務所、警察署などと連携し、児童生徒の安全確保に努める。

住民に向けた情報発信のあり方について

Q 情報発信のあり方について、住民個人に向けた情報発信などの導入についての考えは。

A 令和3年度に「ICT活用ビジョン・DX推進アクションプラン」の策定に取り組んで、デジタル技術の活用で行政サービスの提供をする。市民一人ひとりへの情報発信は各種制度の対象者に、個別に案内通知や申請書を送付して対応している。

【その他の質問】

・新卒者の就業支援策について



千風の会
金井文彦

一重山2号線整備の必然性について

Q 都市計画道路「一重山線」整備の先行箇所として市が整備するとした市道「一重山2号線」は、先線を県が行う確認がない現状では現在、市民の理解を得るのは難しい。小川市長の強いリーダーシップが求められていると考えるが。

A 市が一重山2号線を整備するのは、一重山線の早期全線開通を目指すために、関係機関に覚悟を示すものだ。私が先頭に立って一重山線の事業化に向けた要望を行うことで、整備に関する「確証」を得られるよう努力していく。

戸倉上山田温泉の再生について

Q 戸倉上山田温泉が窮地に立たされている。温泉の再生は千曲市観光振興の目玉で

あり、千曲市全体を明るくするものである。市として戸倉上山田温泉の観光地としてのまちづくりを本気で考える時期ではないか。

A 戸倉上山田温泉の再生は、信州千曲観光局を核に商工団体、旅館組合、飲食店組合、地域や有志、事業所等、単に行政主導でなく、オール千曲で取り組んでいくことが大切と考える。

犯罪被害者等支援について

Q 県で4月に「犯罪被害者等支援条例」が施行された。市でも市民の安心という観点から条例制定は必要だ。小川市長の即断を求める。

A 条例制定に向け、被害者の支援体制の整備における事項について調査・研究を行っている段階だ。

【その他の質問】

・庁内の職場環境について
・組織改編について
・千曲市まちづくりアカデミーについて



日本共産党千曲市議員
中村 恒彦

宿泊行事を実施の方向で

Q

小中学校の修学旅行などの宿泊行事はかけがえのない教育活動。市の財政的援助も含め、極力実施の方向で検討を。

A

思いは一緒。実施の方向で検討中。キャンセルに伴うキャンセル料は、保護者負担とならないよう今年度も市として負担する。

学校給食費に公費で補助を

Q

食材の値上がりはどう対処しているか。

A

他の食材への振り替えで対応している。

Q

多くの自治体が値上げしている。給食の質や量を確保するために、公費による補助を。

A

給食費の値上げは考えていな

い。経済的に困難な家庭に対し就学援助制度を拡充した。

農地の活用を

Q

遊休農地の広さと解消のための方策は。

A

32ヘクタールで約2%。農業委員会で現況確認や相談会を実施し、担い手への農地の集積集約等で、解消に努めている。

水田活用交付金の継続を

Q

交付金の見直しが始まった。荒廃農地を増やさないためにも、国に継続の働きかけを。

A

担い手農家に報告会を実施。実情等意見を集約し、当市域の現状課題を伝えていく。

【その他の質問】

- ・新たな教員研修制度について
- ・学校の多忙化（書類の簡略化と教頭の勤務時間縮減）について
- ・防犯灯の農作物への光害軽減について

議員表彰

全国市議会議長会並びに北信越市議会議長会より、長年議員の職にあり、市政発展に尽くされたとして、荻原光太郎議員（在職20年）が表彰されました。

6月定例会において和田英幸議長より表彰状の伝達が行われ、受賞者の荻原議員が謝辞を述べられました。



6月定例会で表彰を受けた荻原議員

「市道路線の認定について」

質疑、継続審査を求める動議、討論、採決



和田 重昭 議員

建設経済常任委員長への質疑

Q 令和3年3月議会定例会で、「市道一重山2号線」の計画変更を行う場合は、広く市民の意見を聴取し、議会と十分な協議の上で決定することなどの附帯決議を可決している。本議案は、「市道一重山2号線」の起点、終点の設定に加え、幅員が20mに決定される重要案件だが、委員会ではどのような議論があったか。

A 担当課からは、本年2月末に屋代地区の開発方針が明らかになったことで、一重山2号線の幅員を20mに決定した。3月議会の委員会で説明した後、地権者の皆様にも概ねご理解いただけたため、市道路線として認定をし、約160名の地権者に支払う用地費や補償費の税の特別控除を可能にしたい、との説明があった。

委員からは、開発に変更があった場合、20mの幅員で大丈夫か、そのような理由だけで決定してよいのか、などの質疑があったが、歩道、自転車道、車道等の幅員構成は、今後の協議で決定していくこと、この時期に市道認定をしないと事業が進められないことなどの説明を受け、最終的には全会一致で可決すべきものと決定した。

本議案を委員会に再付託し、**継続審査とする動議**

本議案は、単に市道認定の議案ではなく、これを可決することにより、一重山2号線のすべてが確定してしまう重要案件だ。説明・議論がまだ不十分であり、

採決結果 賛成少数で動議は



だ不十分であり、本議案を建設経済常任委員会に再付託し、継続審査を求める動議を提出する。

反対討論

本議案については、前述した動議と同様の理由で反対とする。

可決

採決結果

賛成多数で
議案第31号は可決。

議員活動

屋代スマート IC (仮称) 要望活動

4月19日、国土交通省、4月28日に国土交通省関東地方整備局へ屋代スマート IC (仮称) の要望活動を行いました。



国土交通省 村山道路局長へ要望書を提出

福祉環境常任委員会行政視察 (安曇野市)

5月11日、公共交通施策について安曇野市のオンライン視察を行いました。コロナ禍で現地視察ができないため、オンラインでの視察となりました。



安曇野市の担当者からオンラインで説明を聞く

福祉環境常任委員会行政視察 (飯綱町)

5月26日、飯綱町の公共交通施策について視察調査を行いました。

実際にデマンド交通受付センターでオペレーターや運転手から直接話を聞くことができました。



使用されているデマンドタクシーを見学

総務文教常任委員会現地調査 (市内公共施設)

5月27日、「蔵し館」「ふる里漫画館」「日本遺産センター」の現地調査を行いました。



日本遺産センターで担当者から説明を聞く

きかせて
ください!



川崎 隆生さん
(八幡)

歴史と現代への架け橋

私の住む千曲市八幡には令和2年度に日本遺産に認定された「月の都千曲」があります。姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」などが評価され日本遺産に認定されました。

また、八幡の武水別神社は、川中島の戦い時に上杉謙信が参拝した歴史深い神社です。

千曲市は、私が住む地域以外にも様々な歴史的文化財や自然等があふれる魅力あるまちです。古くは「科野の国」の交通・文化の中心地として栄えていたと伝え聞いております。

しかし近年、周辺は少子高齢化が進み、過疎化の波が押し寄せ、空き家も増えています。

千曲市の素晴らしい文化遺産を活かし、周辺のインフラ整備を進めて商業施設の誘致、移住者を更に増やしていく施策を議会や行政にお願いします。

次回 9月 定例会予定

(会期 18日間)

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29 本会議 開会	30	31	9/1	2	3
4	5 本会議 一般質問	6 本会議 一般質問	7 本会議 一般質問 議案審議	8 委員会 総務文教 常任委員会	9 委員会 福祉環境 常任委員会	10
11	12 委員会 建設経済 常任委員会	13	14	15 本会議 委員長報告 討論・採決	16	17
18	19	20	21	22	23	24

※議事の都合により、日程が変更される場合がありますのでご了承ください。

議会を動画で見よう

本会議での様子をパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけます。

動画は一般質問の約2週間後から配信されます。



議会公式チャンネル

千曲市議会ユーチューブ

検索

議会を傍聴してみませんか

どなたでも傍聴できます。傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。

詳しくは、市議会のホームページをご覧ください。



早いもので当委員会も選挙改選からの任期2年を終えようとしています。この間、コロナ禍の大変な時期から今日まで5名の新人議員と共に熱い議論を交わし、念願であった市議会のYouTube配信と本議会だより『みんなの議会』のフルカラー化を実現することが出来ました。頂いた市民の皆様のご意見にも心から感謝いたします。8月2日には臨時市議会が開催され、後期2年の新体制が決まり、全議員が新たな立場、新たな気持ちで9月定例会を迎えることとなります。我々議会広報特別委員会は更に市民に親しまれる議会となるよう広報活動に精励してまいります。(滝沢 清人)

議会広報特別委員会

- 委員長 滝沢 清人
- 副委員長 飯島 孝
- 委員 北川原 晃
- 吉池 明彦
- 中村 恒彦
- 宮下 繁明
- 田中 秀樹
- 林 慶太郎